

環境産業の振興に向けた取組について

戦略の目的と必要性

環境産業を経済活性化に向けた推進エンジンのひとつとして育成・振興を図ることを目的に、産業界、研究機関、地域などが方向性を共有、連携した取組を進めていけるよう道として策定

めざす姿

【産 業】 高い競争力を有し、世界を視野に飛翔する環境産業群の形成

【地 域】 地域に広がる多様な環境ビジネスの創出

【社 会】 環境と経済の調和をめざす社会の仕組づくり

重点的に取り組む分野・方向 ～取組実績や成果等を踏まえ、今後5年間に北海道の優位性を更に発揮できる分野を設定～

スマートコミュニティ関連

〈戦略方向〉

- 道内企業の独自技術・製品の磨き上げや新たな技術・製品開発を促進し、新規プロジェクトの事業化展開を促進
- 水素社会実現戦略ビジョン等を踏まえた取組促進

リサイクル関連

〈戦略方向〉

- リサイクル製品を軌道に乗せる取組促進やさらなる利用拡大に向けた方策検討
- 地域の循環資源を活用した地元企業によるリサイクル産業創出に向けた取組促進

省エネルギー関連

〈戦略方向〉

- 道内企業の関連技術の取得・向上及び独自技術の開発促進
- 普及啓発などの取組のほか、関連するサービス系事業の育成・振興



- ◇市町村等の地域主導の取組に対するフォローアップ・サポート
- ◇水素関連のニーズ調査やセミナー・マッチング等の実施

- ◇産業廃棄物リサイクルの事業化の調査研究への助成
- ◇産学官連携によるリサイクルの事業化促進の協議検討

- ◇新規参入から事業化までの一貫したきめ細やかな支援
- ◇省エネ等に関するコンサルタント育成講習の実施

- ◇道内大学や公設試験研究機関等と連携した先進的技術開発、実証事業や市場調査による製品開発への助成
- ◇道内外企業による新製品開発等のプロジェクトへの助成、専門相談員の派遣によるハンズオン支援の実施



支援
する
仕組

- ◇道外企業との企業間連携によるコーディネートの実施
- ◇道外展示会への出展、マーケティング調査等の実施
- ◇環境産業関連の成果発表会及びビジネスマッチングの実施
- ◇環境産業関連事業者を対象に知識・技術向上力のセミナーの実施
- ◇環境産業への参入支援等に関する講習会の開催

主な
施策
(平成
三〇年
度)

成果指標

【スマートコミュニティ関連】 寒冷地型スマートハウス街区の開発（1箇所）

【リサイクル関連】 地域内リサイクルシステムの構築（3地域）

【省エネルギー関連】 産業部門別の最終エネルギー消費量（38.5GJ/百万円）

戦略の期間・進行管理

【戦略期間】 平成28年度～32年度（5年間）

【中間年度】 有識者や市町村などから意見を聴取しながら点検・評価を行う（H30）

【推進体制】 関連事業を所管する関係各部課で構成する庁内連携会議により情報交換・連絡調整の実施

研究開発・製品開発等への支援制度（H30）

〈研究開発・製品開発等への支援〉

先進的エネルギー関連技術開発
支援事業

（⑩ 30,259千円（㊦50,386千円））

・道内の大学や公設試等と連携して行う先進的なエネルギー関連技術の技術開発を支援する。

- 対象：企業または共同体
- 補助額等：1,000万円以内、2／3以内（一部3／4以内）

先進的エネルギー関連製品開発
支援事業

（⑩ 6,180千円（㊦9,236千円））

・道内の技術シーズを活用した先進的なエネルギー関連技術の製品開発を支援する。

- 対象：企業または共同体
- 補助額等：300万円以内、2／3以内（一部3／4以内）

次世代エネルギープロジェクト
事業化推進事業

（⑩ 10,742千円（㊦10,754千円））

・道内企業が持つ積雪寒冷地特有の製品・技術と道内外企業が持つ製品・技術を組み合わせて行う新しい製品・システム開発を支援する。

- 対象：企業または共同体
- 補助額等：1,000万円以内、1／2以内

〈販路の確立等への支援〉

【継】環境産業販路確立総合対策
事業

（⑩ 13,042千円（㊦13,042千円））

・道内企業が有する技術・製品の優位性を高めるため、企業間連携による事業化に向けたコーディネート、展示会への出展やマッチング等を実施する。